

## Model: XPK-250W mk3

お買いあげ頂きまして誠にありがとうございます。

XPK-250W mk3は当社製H-BUSまたはMIDI対応機種用、3接点25鍵のペダル鍵盤ユニットとエクスプレッション・ペダル・ユニットで構成された製品です。

本製品を未永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

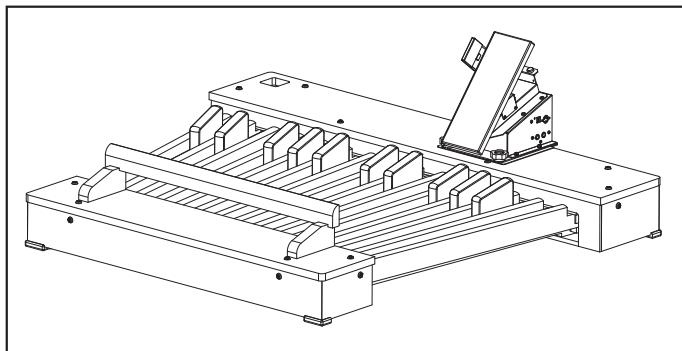
お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。

### H-BUS 対応機種

XK-7/-7D、XK-5

### MIDI 対応機種

XK-3/-3C、XK-1C、XK-4、SK PRO、SKX PRO、SK1/SK2/SKX



### 目次

安全上のご注意	2
各部の名称と働き	3
組み立てかた	4
運搬	4
接続のしかた	5
XK-7D 及び ST-XLK5W/-XKD-W	5
ペダル鍵盤の位置	5
XK-7, XLK-5 及び ST-XLK5W/-XKD-W	6
XK-5, XLK-5 及び ST-XLK5W/-XKD-W	7
SK PRO/SKX PRO, SK1/SK2/SKX, XK-1C, XK-4	8
XK-3/-3C と XLK-3/-B3	9
設定のしかた	10
SK1/SK2/SKX, XK-1C	10
XK-3/-3C または XLK-3/-B3	10
SK PRO/SKX PRO, XK-4	10
その他の操作	11
MIDIチャンネル	11
リバウンド・タイム	11
チャタリング除去	11
LEDの明るさ	11
ペロシティ・カーブ	12
フット・スイッチのコントロール・コード	12
工場出荷時の設定に戻す	12
トラブルシューティング	13
MIDIインプリメンテーション・チャート	14
仕様	15
H-BUS規格	15
ジャックと回路	15
保証とアフターサービス	16

## 取扱説明書

# 安全上のご注意



## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



### 分解・改造の禁止

- この機器を分解したり(取扱説明書に記載されている指示を除く)、改造したりしないでください。



### 修理・部品交換

- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売に相談してください。



### 使用・保存環境

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  - 湿度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など)
  - 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)
  - 雨に濡れる場所
  - ホコリの多い場所
  - 振動の多い場所



### 設置場所

- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



### 異物・液体を入れないで

- この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水、ジュースなど)を絶対にいれないでください。



### 問題時にはご連絡を

- 次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターをコンセントから外し、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売へ修理を依頼してください。
  - ACアダプター本体、電源コード、またはプラグが破損したとき
  - 煙が出たり、異臭がしたとき
  - 异物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - 機器が(雨などで)濡れたとき
  - 機器に異常や故障が生じたとき



### お子様に注意

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人の方が、監視／指導してあげてください。



### 衝撃を与えないで

- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。



### 製品の上に乗ったり、重い物を乗せたりしないでください

- 製品が故障する原因になりますし、製品が転倒したりしてお客様がケガをする危険性があります。



### 移動の際には接続ケーブルをすべて外してください

- この製品を移動させるときは、接続ケーブルはすべて外してください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



### コードは引っ張らないでください

- コードを抜き差しする場合は、必ずプラグを持ってください。



### 接続時の注意

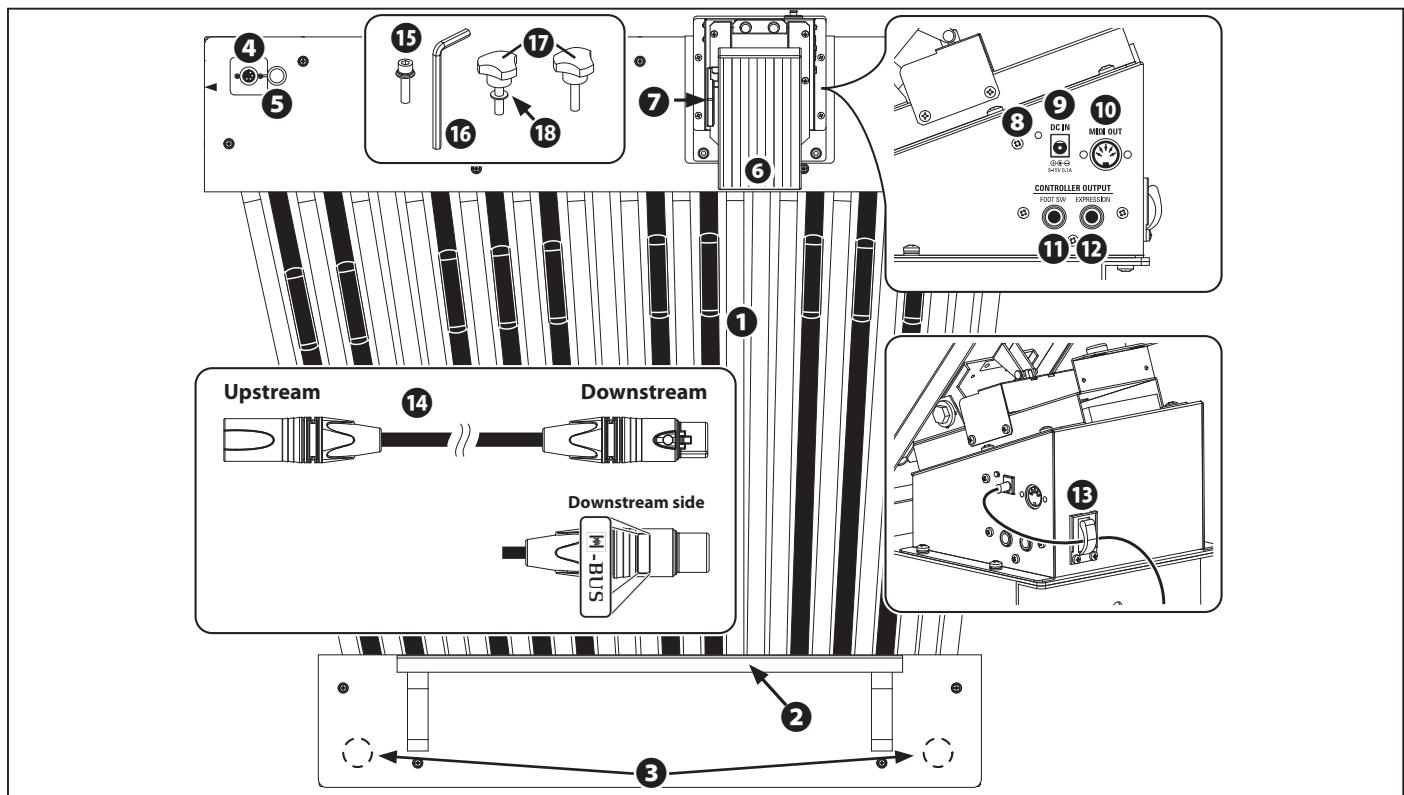
- 接続時はすべての機器の電源を切ってください。取扱説明書に従い、指定された正しいケーブルをご使用ください。



### 可動部に注意

- 本製品を組み立てたり収納したりするときは、指などをはさまないように注意して行ってください。

# 各部の名称と働き



## ペダル鍵盤ユニット

### ① ペダル鍵盤

25鍵、ラジアルフラット型、3接点のペダル鍵盤です。

### ② フットレスト

### ③ アジャスター

回転して床に接し、がたつきを抑えます。

### ④ H-BUSジャック

H-BUS対応の当社機器に接続します。電源供給と演奏情報が1本のケーブルで送られます。

### ⑤ ダストキャップ

## エクスプレッション・ペダル・ユニット

### ⑥ エクスプレッション・ペダル

H-BUSペダル鍵盤対応の高機能エクスプレッション・ペダルです。

エクスプレッション・ペダルとしての機能のほか、ペダル鍵盤の制御機能、DC入力及びMIDI出力端子を搭載しています。

### ⑦ フット・スイッチ

演奏中に各種スイッチ操作を行うためのスイッチです

### ⑧ LED

演奏状態や各種バリューを表示します。

### ⑨ DC INジャック

MIDIで使用する場合に、ACアダプターより電源を供給します。

### ⑩ MIDI OUTジャック

演奏情報を送信します。

### ⑪ FOOT SWジャック

フット・スイッチの状態を出力します。

プラグが差し込まれると、MIDI及びH-BUSへのフット・スイッチ情報の送信は停止します。

### ⑫ EXPRESSIONジャック

エクスプレッション・ペダルの状態を出力します。

プラグが差し込まれると、MIDI及びH-BUSへのエクスプレッション情報の送信は停止します。

### ⑬ コードフック

ACアダプターのコードを掛け、ジャックやコードを保護します。

## 付属品

### ⑭ H-BUSケーブル

1.0m。H-BUSラベルを貼って使用します。

### ⑮ 六角穴付きボルト(M6×25、3個)

エクスプレッション・ペダルを固定します。

### ⑯ 六角レンチ(5mm)

⑮の固定に使用します。

### ⑰ ノブボルト(M6×25、3個)

エクスプレッション・ペダルを固定します。頻繁に取り外しを行う場合は、⑯に換わりこちらをご使用ください。うち一つには、抜け止めワッシャー⑯が挿入されています。

### ⑱ 抜け止めワッシャー(5.6×12mm)

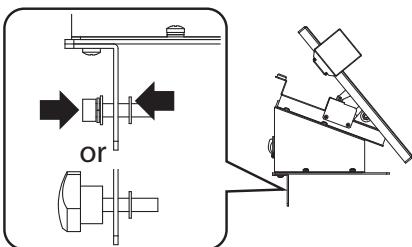
ノブボルト／六角穴付きボルトを保持します。

# 組み立てかた



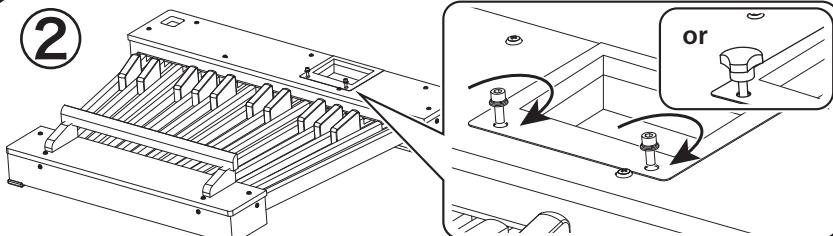
- ・ 指を挟んだり、足に物を落としたりしないよう、充分注意して作業してください。
- ・ 作業は電源を切った状態で行ってください。

①



六角穴付きボルト(またはノブボルト)と抜け止めワッシャーを、エクスプレッション・ペダル・ユニットのブラケットに取り付けます。

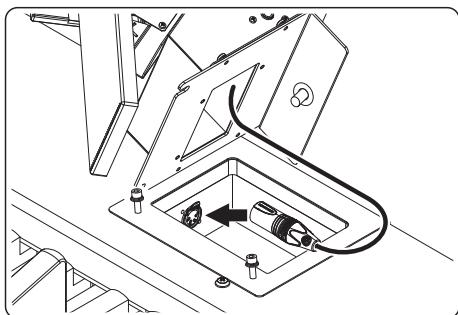
②



ペダル鍵盤ユニット天面の穴に、六角穴付きボルト(またはノブボルト)2本を差し込み、時計方向に数回転、回します。

手順④でエクスプレッション・ペダル・ユニットを取り付けられるよう、ボルト頭部の下に隙間がある状態にしてください。

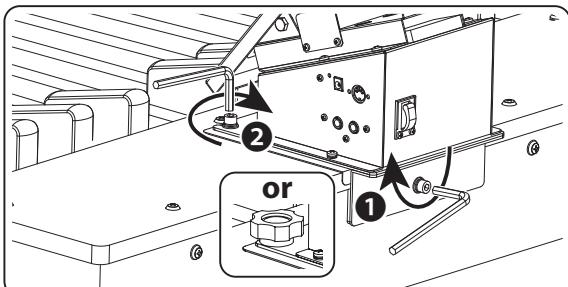
③



エクスプレッション・ペダル・ユニットと、ペダル鍵盤ユニットとを、前者の底部から出ているケーブルでコネクターの向きに注意して接続します。

**NOTE:** コネクターを外す場合は、コネクターの[PUSH]ボタンを押しながら引き抜いてください。

④

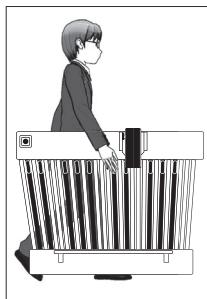
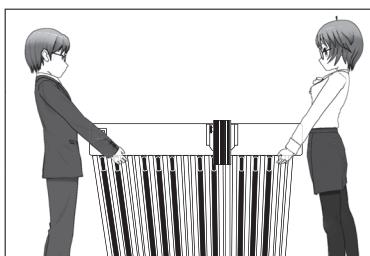


ペダル鍵盤ユニットにエクスプレッション・ペダル・ユニットを置きます。

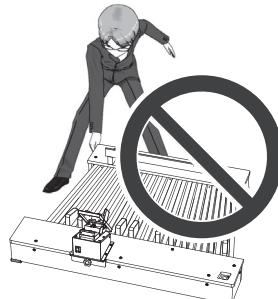
背面のボルト①に続き天面のボルト②を締めます。

取り付け後、エクスプレッション・ペダル・ユニットにぐらつきのないことをご確認ください。

## 運搬

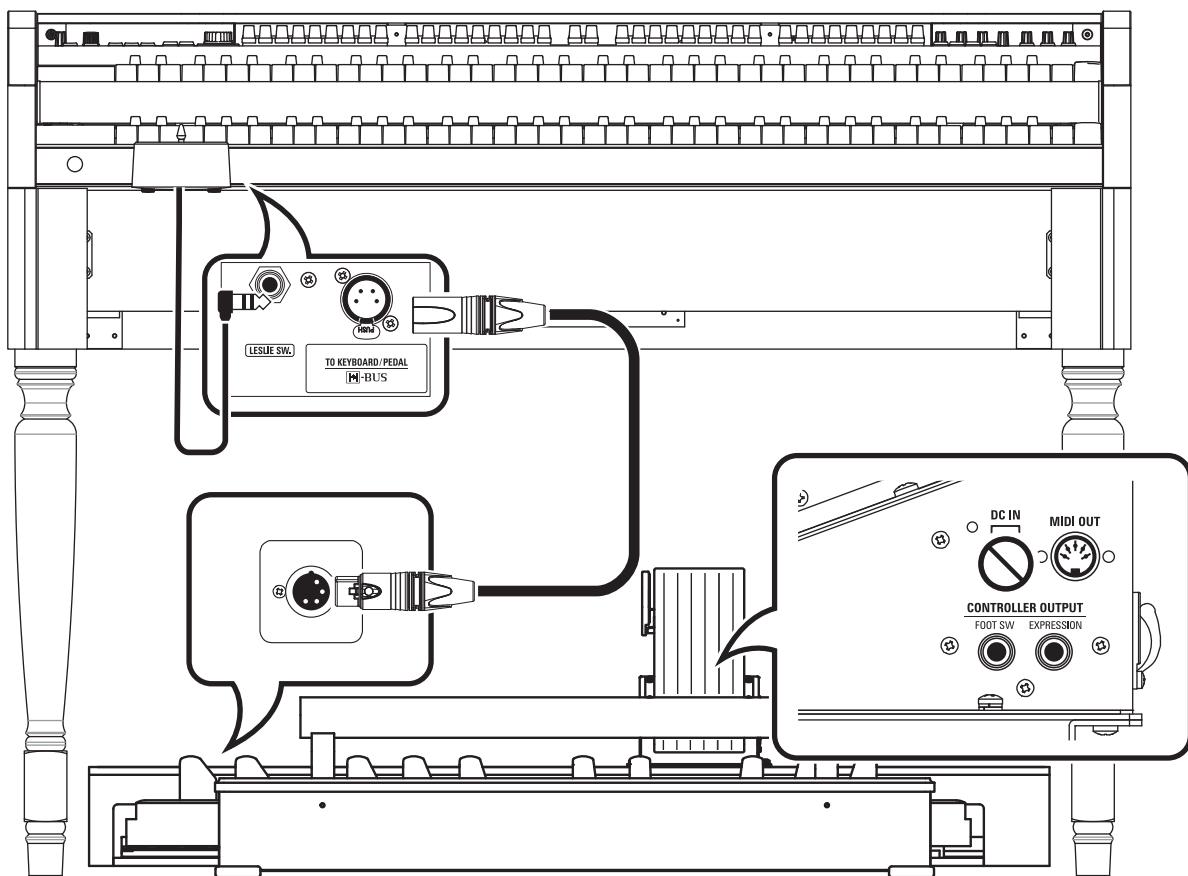


本機を運搬する場合は、できるだけ大人二名でエクスプレッション・ペダル側の箱部を持って行ってください。  
たわみを防ぐため、角やフットレストを持ち上げないでください。



# 接続のしかた

## XK-7D 及び ST-XLK5W/-XKD-W

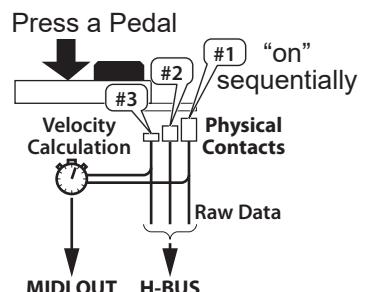


- 上図のようにH-BUSケーブルを接続します。
- 電源はオルガンから供給されます。ACアダプターは接続しないでください。
- H-BUSでは以下の信号が送られます。
  - ペダル鍵盤、各鍵の3接点(オルガン音源用の設定可能な仮想マルチ・コンタクト、エクスターナル・ゾーン用のベロシティ)
  - エクスプレッション・ペダル
  - フット・スイッチ
- それぞれの機器は自動的に認識されますので、特別な設定は不要です。

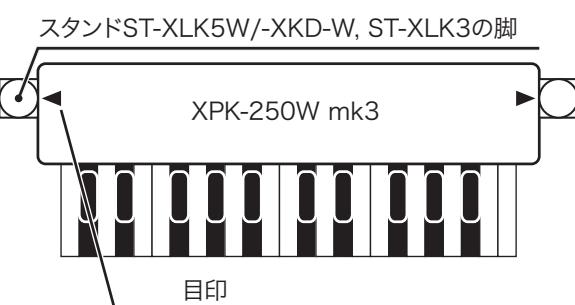
**NOTE:** この図では鍵盤拡張以外の接続は省略してあります。電源や音声など、基本的な接続はXK-7Dの取扱説明書をご参照ください。

### tips マルチ・コンタクト鍵盤

本製品はB-3/C-3といったマルチ・コンタクト鍵盤のハモンドオルガンを模すために、1鍵あたり3接点を搭載しています。



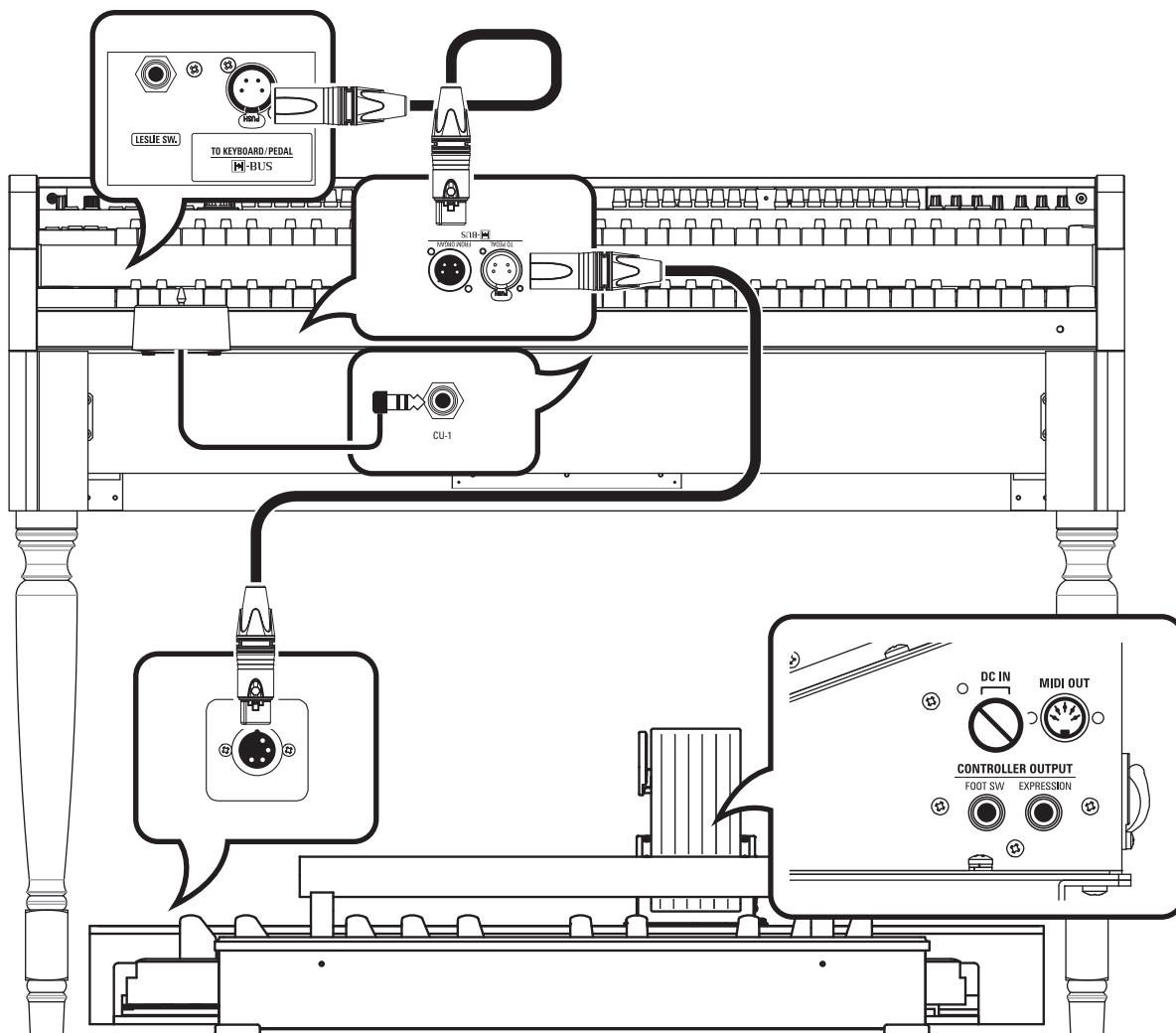
## ペダル鍵盤の位置



手鍵盤とペダル鍵盤との位置関係を正しくするために、スタンドとXPK-250W mk3を左図のように設置してください。

## 6 接続のしかた - 続き

### XK-7, XLK-5 及び ST-XLK5W/-XKD-W

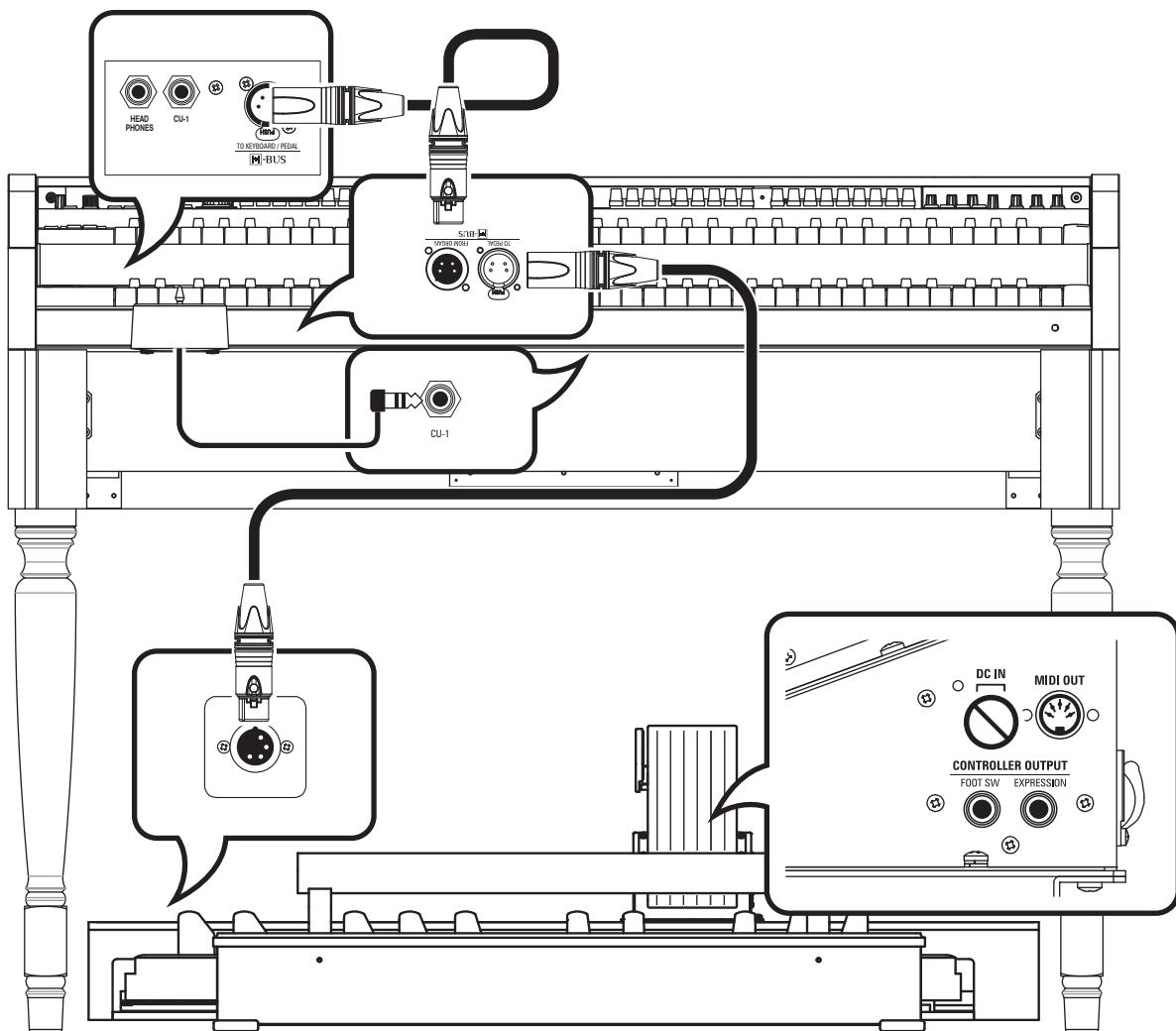


- 上図のようにM-BUSケーブルを接続します。
- 電源はオルガンから供給されます。ACアダプターは接続しないでください。
- M-BUSでは以下の信号が送られます。
  - ペダル鍵盤、各鍵の3接点(オルガン音源用の設定可能な仮想マルチ・コンタクト、エクスター・ナル・ゾーン用のペロシティ)
  - エクスプレッション・ペダル
  - フット・スイッチ
- それぞれの機器は自動的に認識されますので、特別な設定は不要です。

NOTE: この図では鍵盤拡張以外の接続は省略してあります。電源や音声など、基本的な接続はXK-7の取扱説明書をご参照ください。

ペダル鍵盤ユニットの位置合わせについては、P.5をご参照ください。

## XK-5, XLK-5 及び ST-XLK5W/-XKD-W

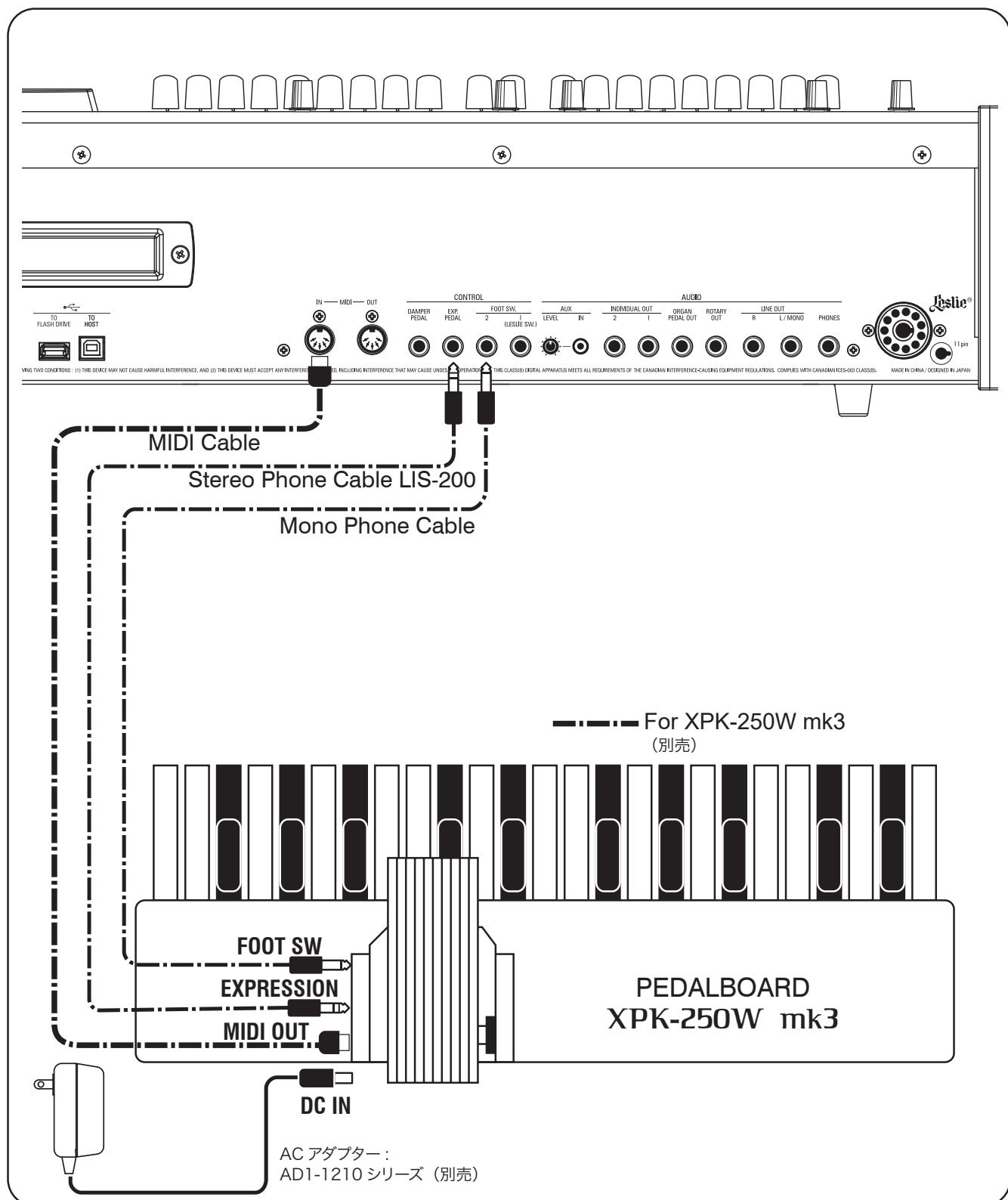


- 上図のようにM-BUSケーブルを接続します。
- 電源はオルガンから供給されます。ACアダプターは接続しないでください。
- M-BUSでは以下の信号が送られます。
  - ・ペダル鍵盤、各鍵の単接点(オルガン音源用の仮想マルチ・コンタクト、エクス・ターナル・ゾーン用のペロシティ……両者とも固定値です)
  - ・エクスプレッション・ペダル
  - ・フット・スイッチ
- それぞれの機器は自動的に認識されますので、特別な設定は不要です。

**NOTE:** この図では鍵盤拡張以外の接続は省略してあります。電源や音声など、基本的な接続は XK-5の取扱説明書をご参照ください。

ペダル鍵盤ユニットの位置合わせについては、P.5をご参照ください。

## SK PRO/SKX PRO, SK1/SK2/SKX, XK-1C, XK-4

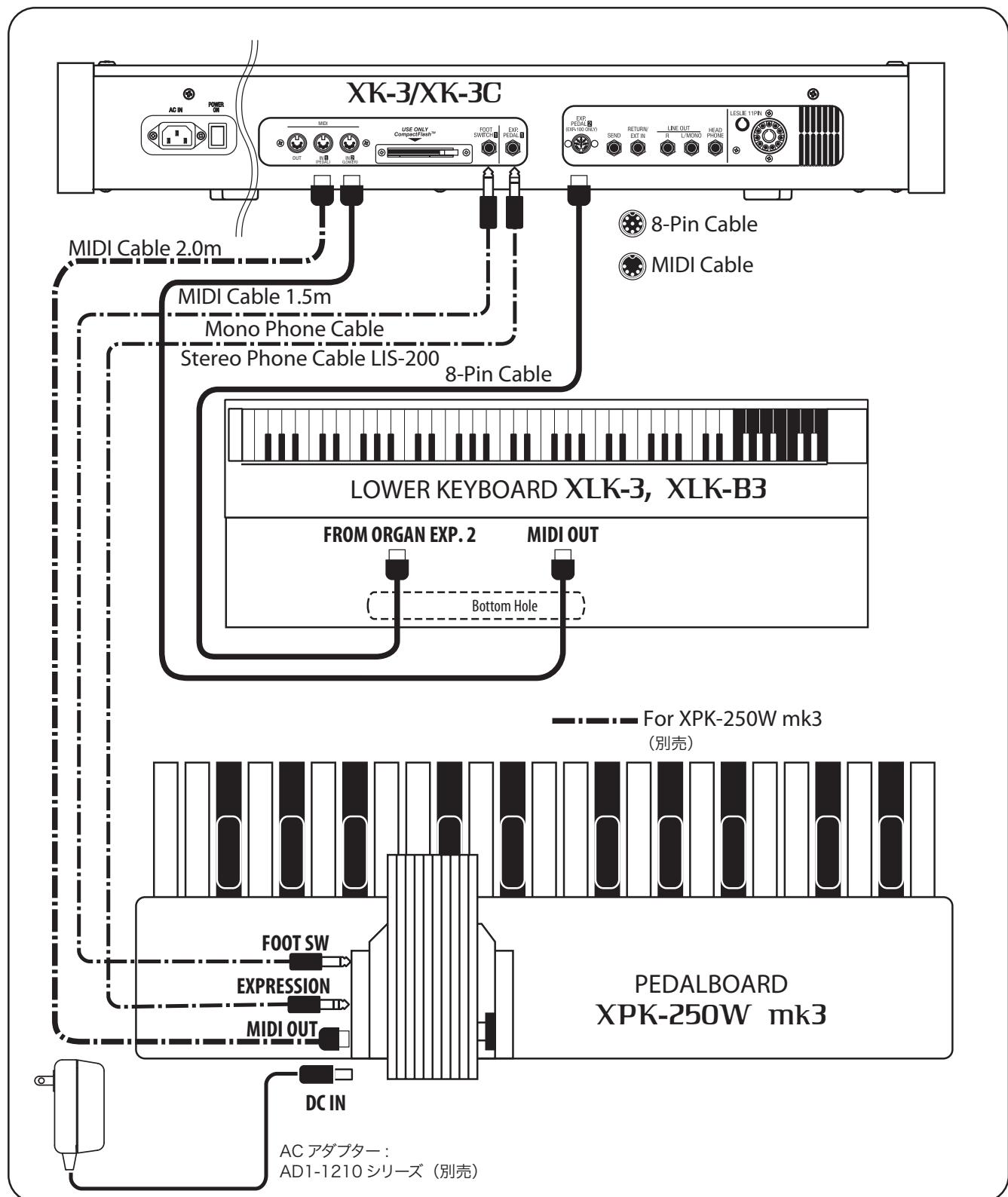


設定方法はP. 10をご参照ください。

**NOTE:** ACアダプターがDC INジャックに接続されている間、本機は動作し続けます。ご使用が  
終わったら、ACアダプターをコンセントから外してください。

**NOTE:** この図では鍵盤拡張以外の接続は省略してあります。電源や音声など、基本的な接続は  
各楽器の取扱説明書をご参照ください。

## XK-3/-3C と XLK-3/-B3



設定方法はP. 10をご参照ください。

**NOTE:** ACアダプターがDC INジャックに接続されている間、本機は動作し続けます。ご使用が終わったら、ACアダプターをコンセントから外してください。

**NOTE:** この図では鍵盤拡張以外の接続は省略してあります。電源や音声など、基本的な接続は各楽器の取扱説明書をご参照ください。

# 設定のしかた

## SK1/SK2/SKX、XK-1C

### MIDIテンプレートを呼び出す

▲TEMPLATE  
↓Pedal KBD ↗ [ENT]

メニュー ミディ テンプレート ペダル キーボード  
[MENU] - MIDI - TEMPLATE "Pedal KBD"を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

### フットスイッチのデバイスと用途を選択する

レスリースイッチCU-1をご使用でない場合は、本機のフットスイッチを各種切り替え操作に使用できます。

▲FOOT DEVICE  
SW FOOT SW ↗

▲FOOT TIP MODE  
SW LESLIE S/F ALT ↗

コントロール [CONTROL] - フットスイッチ デバイス フットスイッチ  
チップモード [FOOT SW] - DEVICEを"FOOT SW"に、同じく  
TIP MODEを所望の機能に設定します。

### エクスプレッション・ペダルを選択する

▲EXPR SOURCE MON  
ESSN PED (NORM) ↗127

コントロール [CONTROL] - エクスプレッション ソース ベダル ノーマル  
EXPRESSN - SOURCEを、"PED(NORM)"に設定します。

以上で各種設定は終わりです。[PLAY]ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

## XK-3/-3C または XLK-3/-B3

### MIDIテンプレートを呼び出す

▲TEMPLATE  
↓Sea. Record ↗ [RECL]

メニュー ミディ テンプレート シーケンサー コード  
[MENU] - MIDI - TEMPLATE "Sea. Record"を選択し、[4] RECLを押します。

### フットスイッチのデバイスと用途を選択する

レスリースイッチCU-1をご使用でない場合は、本機のフットスイッチを各種切り替え操作に使用できます。

▲FOOT 1 (PHONE) DEV  
SW PEDAL ↗

▲FOOT 1 (PHONE) TIP  
SW LESLIE S/F ALT ↗

コントロール [CONTROL] - フットスイッチ フォン デバイス ベダル  
チップモード [FOOT SW] - 1(PHONE)DEVを"PEDAL"に、同じく  
<TIP MODEを所望の機能に設定します。

### エクスプレッション・ペダルを選択する

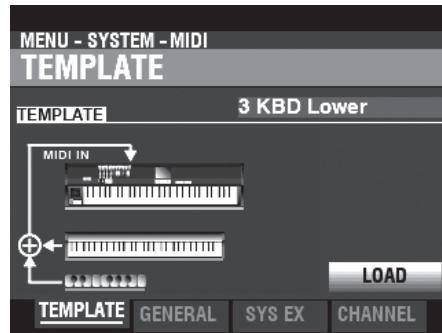
▲EXPR SOURCE MON  
ESSN PED1 (NORM) ↗127

コントロール [CONTROL] - エクスプレッション ソース ベダル ノーマル  
EXPRESSN - SOURCEを"PED(NORM)"に設定します。

以上で各種設定は終わりです。[PLAY]ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

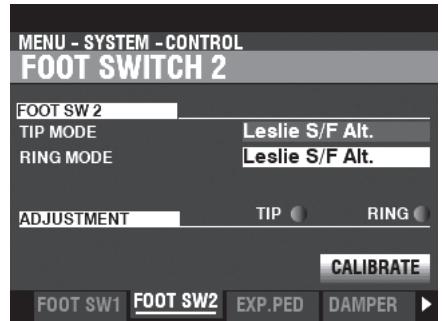
## SK PRO/SKX PRO、XK-4

### MIDIテンプレートを呼び出す



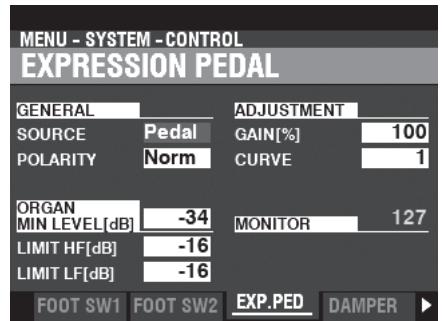
メニュー イグジット システム ミディ テンプレート  
[MENU/EXIT] - SYSTEM - MIDI - TEMPLATEをお持ちのシステムに合わせて選択し、カーソルをLOADアイコンに移動し、[ENTER]ボタンを押します。

### フットスイッチのデバイスと用途を選択する



コントロール フットスイッチ デバイス フットスイッチ  
[CONTROL] - FOOT SWn - DEVICEを"Foot Switch"に(FOOT SW1のみ)、TIP MODEを所望の機能に設定します。

### エクスプレッション・ペダルを選択する



コントロール エクスプレッション ペダル ソース ボース  
[CONTROL] - EXPRESSION PEDAL - SOURCEを、"Both"または "Pedal"に、POLARITYを"Norm"に設定します。

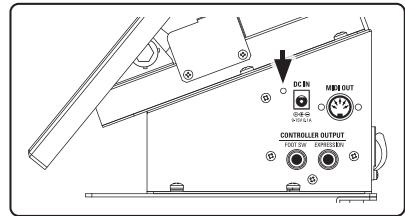
以上で各種設定は終わりです。[RECORD]ボタンを押して、設定を記憶します。

# その他の操作

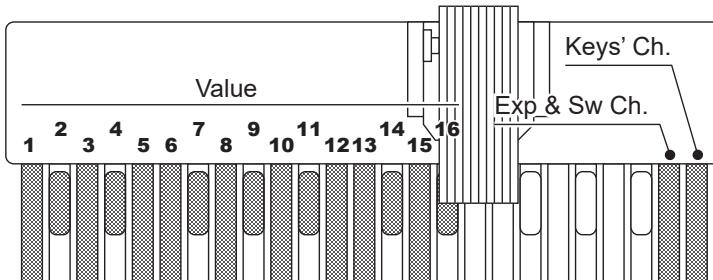
本機は様々な設定を行えます。設定を変更するには、

- 電源を入れます(使用形態がH-BUSの場合はオルガンの電源を入れ、MIDIの場合はACアダプターを接続します)。
- 同時に<sup>\*1</sup>エクスプレッション・ペダル右のLED(右図)が2秒間点灯します。その時間内に下記のパラメーター・キーとバリュー・キーを押し続けます。
- 設定が完了すると、LEDがバリューに応じて点滅します。

<sup>\*1</sup> XK-5とH-BUSで接続している場合は、「プレイ画面が表示されてから」



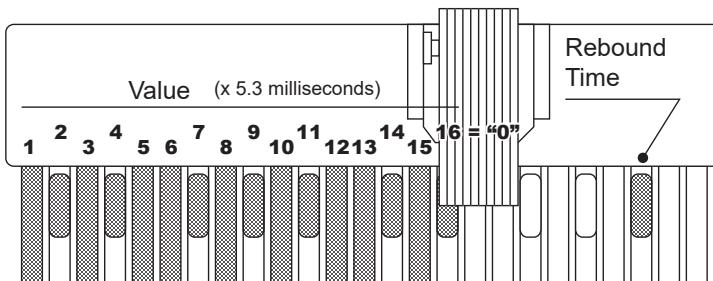
## MIDIチャンネル



ペダル鍵盤、エクスプレッション・ペダル及びフット・スイッチのMIDIチャンネルを設定します。

パラメーター	バリュー	初期値
右側C(ペダル鍵盤)	左側C～中央E♭: チャンネル1～16	3
右側B (エクスプレッション・ペダル 及びフット・スイッチ)		1

## リバウンド・タイム

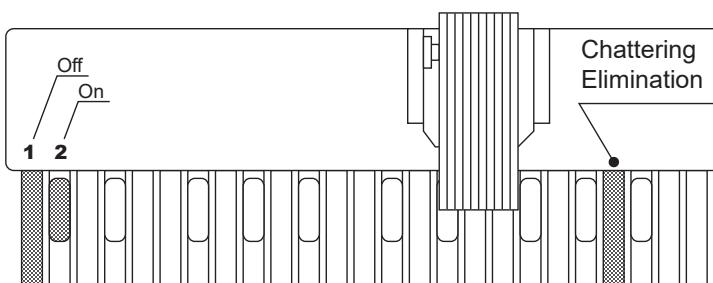


離鍵時に二度鳴りが起こる場合、「リバウンド・タイム」を調節することによって、これを回避することができます。

パラメーター	バリュー	初期値
右側B♭	左側C～中央E♭: 離鍵がバリュー × 5.3[ms]遅延 但し16番は遅延なし	16

NOTE: 長すぎるリバウンドタイムは発音の遅れを生じます。

## チャタリング除去

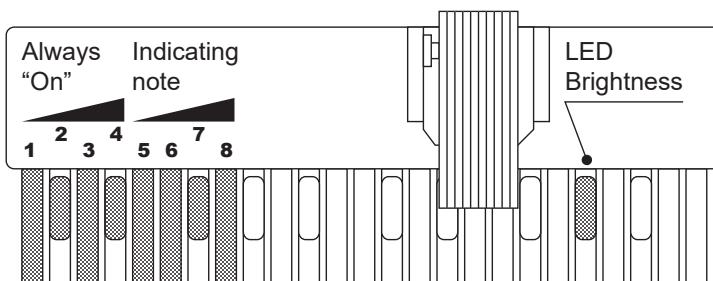


打鍵及び離鍵時にバタつきが起こる場合、「チャタリング除去」によって、これを回避することができます。

パラメーター	バリュー	初期値
右側A	左側C(1): オフ 左側C♯(2): オン	1

NOTE: 本機はトーンホイール・オルガンの挙動を再現するため、工場出荷時には敢えてチャタリング除去を行っておりません。パイプオルガンや電子オルガンの音色を演奏したり、外部のシンセサイザーをコントロールしたりする場合には、チャタリング除去を「オン」にすることをお勧めします。

## LEDの明るさ



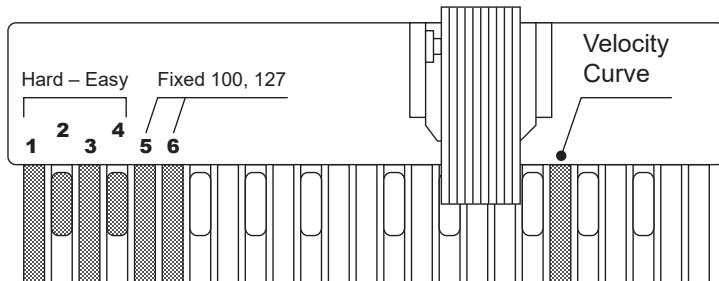
必要に応じて、LEDの明るさや機能を変更することができます。

パラメーター	バリュー	初期値
右側A♭	左側C～E♭(1～4): 常時点灯	5
	左側E～G(5～8): 打鍵時点灯	

NOTE: 通常起動時はそれを表示するため、LEDが最高輝度で2秒間点灯します。

## 12 その他の操作 - 続き

### ベロシティ・カーブ

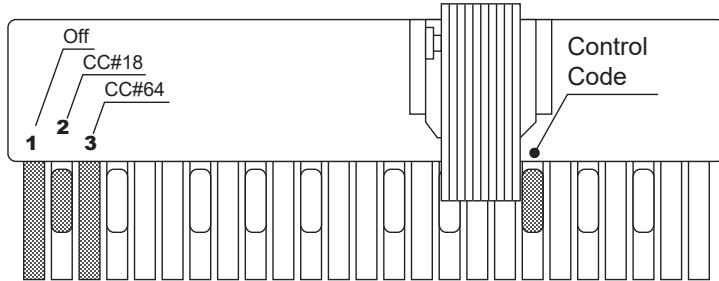


ペダル鍵盤の演奏による、MIDI OUTへのベロシティ・カーブ(打鍵の強さと、送信されるベロシティ値との対応)を設定します。

パラメーター	バリュー	初期値
右側G	左側C ~ E♭(1 ~ 4): ハード ~ イージー 左側E, F(4, 5) 固定100、固定127	1

NOTE: このパラメーターはMIDIのみ有効で、H-BUSには無効です。

### フット・スイッチのコントロール・コード

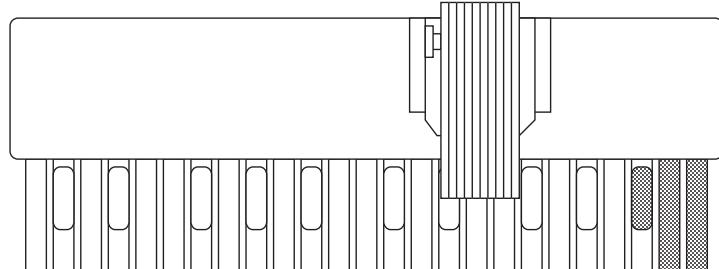


フット・スイッチの操作による、MIDI OUTへのコントロール・チェンジ番号を設定します。

パラメーター	バリュー	初期値
右側F♯	左側C(1): 送信しない 左側C♯(2): 18(汎用操作子1) 左側D(3): 64(ダンパー)	3

NOTE: このパラメーターはMIDIのみ有効で、H-BUSには無効です。

### 工場出荷時の設定に戻す



本機の設定を工場出荷時と同じ状態に戻すには、最も高い「B♭」、「B」、「C」のキーを踏みながら電源を入れます(左図参照)。

初期化が行われ、エクスプレッション・ペダル右のLEDが3回速く点滅します。

# トラブルシューティング

## ◆ オルガンから音が出ない

- **H-BUS**ケーブルを使用している場合: ペダル鍵盤ユニットのキーを演奏しながらエクスプレッション・ペダル・ユニットのLED(図1)の点灯を確認してください。点灯しない場合は、ペダル鍵盤ユニットとエクスプレッション・ペダル・ユニット間の**H-BUS**ケーブルの接続を確認してください(図2)。
- **MIDI**を使用している場合: エクスプレッション・ペダル・ユニットのLED(図1)がゆっくり点滅している場合は、ペダル鍵盤ユニットとエクスプレッション・ペダル・ユニット間の**H-BUS**ケーブルの接続を確認してください(図2)。  
MIDIチャンネルが合っていない。→ MIDIチャンネルを設定します。

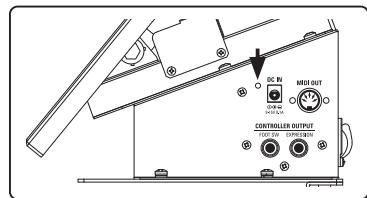


図1

## ◆ エクスプレッション・ペダルやフット・スイッチが効かない

- **H-BUS**やMIDIでコントロールしている場合: [EXPRESSION]や[FOOT SW]ジャックにケーブルが接続されていたら、そのプラグを抜いてください。本機はそれらのジャックにプラグが挿入されていると、**H-BUS**や[MIDI OUT]ジャックへエクスプレッションやフット・スイッチのメッセージを送信しません。
- [EXPRESSION]ジャックでコントロールしている場合: プラグに2本線がある「ステレオ」(またはTRS)フォンケーブルをご使用ください(図3)。

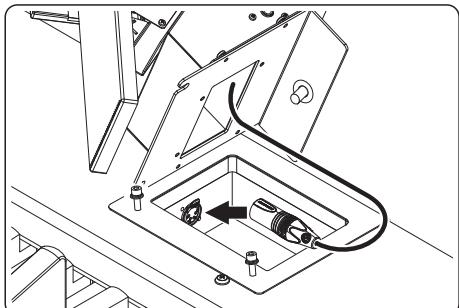


図2

## ◆ 仮想マルチ・コンタクトが働かない(XK-7/-7Dと接続時)

- 本機にACアダプターで電源を供給すると、本機とXK-7/-7Dの間での仮想マルチ・コンタクトは正しく動作しません。ACアダプターを外し、**H-BUS**ケーブルのみで本機とXK-7/-7Dとを接続、電源を入れ直してください。
- XK-7/-7Dが本機を正しく認識できているかどうかは、MENU - SYSTEM - INFORMATION - IS ACTIVEページのH-BUSパラメーターが“XPK-250W mk3”と表示されていることで確認できます。

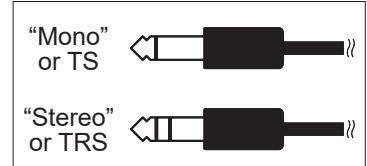


図3

# MIDIインプリメンテーション・チャート

Hammond Pedalboard  
Model: XPK-250W mk3

## MIDI Implementation Chart

Date: 1-May-2025  
Version: 1.0

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1, 3 1 - 16	X X	Note: 3, Control: 1
Mode	Default Messages Altered	3 X *****	X X	
Note Number	: True Voice	36 - 60 *****	X	
Velocity	Note ON Note OFF	O O	X X	
After Touch	Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend		X	X	
	11 18, 64	O *1 O *2	X X	Expression Foot Switch
Control Change				
Program Change	: True #	X *****	X X	
System Exclusive		X	X	
System Common	: Song Position : Song Select : Tune	X X X	X X X	
System Real Time	: Clock : Commands	X X	X X	
Aux.	: All Sounds Off : Reset All Controllers : Local On/Off	X X X	X X X	(120) (121)
Messages	: All Notes Off : Active Sense : Reset	X O X	X X X	

Mode 1: OMNI ON, POLY Mode 2: OMNI ON, MONO

O: Yes

Mode 3: OMNI OFF, POLY Mode 4: OMNI OFF, MONO

X: No

\*1 Stops sending while the [EXPRESSION] plugged in.

\*2 Stops sending while the [FOOT SW] plugged in.

# 仕様

## 鍵盤

25鍵、ラジアルフラット型、3接点(仮想マルチ・コンタクト及びMIDIペロシティ用)

## コントロール

エクスプレッション・ペダル、フット・スイッチ

## 接続端子

**H-BUS**、MIDI OUT、FOOT SW、EXPRESSION、DC IN

## 寸法

1051(W) × 937(D) × 346(H) mm

(本体+エクスプレッション・ペダル最大時)

1051(W) × 906(D) × 205(H) mm

(本体のみ)

## 重量

25 kg(ペダル鍵盤 + エクスプレッション・ペダル)

## 電源

DC 9-15V 0.1A(ACアダプター使用時)

DC 5V 0.1A(**H-BUS**使用時)

## 付属品

**H-BUS**ケーブル(1.0 m)

六角穴付きボルト(M6 × 25、3個)

六角レンチ(5 mm)

ノブボルト(M6 × 25、3個)

抜け止めワッシャー(5.6 × 12 mm)

# バス **H-BUS**規格

## Upstream



## Downstream

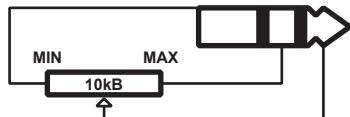


本機の通信には、演奏信号の送受信のほか電源の供給も行う当社独自の**H-BUS**規格を採用しています。

接続には専用の**H-BUS**ケーブルを使用します。このケーブルのコネクターは「上り」「下り」でそれぞれ形状が異なります。

# ジャックと回路

## エクスプレッション EXPRESSIONジャック



## フットスイッチ FOOT SWジャック



# 保証とアフターサービス

この商品には保証書を添付しております。所定の事項の記入後、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はお買いあげ日より1年間です。保証書の記載内容によりお買いあげ販売店が修理いたします。その他、詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはもよりの営業所にお問い合わせください。

製造元 **株式会社 鈴木楽器製作所**

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎ (053)461-2325

販売元 **鈴木楽器販売株式会社**

本 社 〒430-0815 静岡県浜松市中央区都盛町157-1 ☎ (053)477-8800

事務所移転等のため、住所・電話番号が変わる場合がございます。  
最新の情報に関しては、弊社ホームページでご覧いただけます。

[www.suzuki-music.co.jp](http://www.suzuki-music.co.jp)

お問い合わせは下記まで

[www.suzuki-music.co.jp/contact/](http://www.suzuki-music.co.jp/contact/)



お問い合わせフォーム